

元気の源 High Power Print



株式会社やまもと印刷工業 ニュースレター vol.111 2025 年 11 月号

頭働かせられる内に、働いて 働いて 働いて 働いて参ります！

暫く遠ざかっていた読書習慣が久しぶりに戻ってまいりました。
なかなか読書出来る状態では無かったのですが、あまり目の前の課題に向かいすぎても根気負けしてしまい他の事やったりネット眺めてしまったり。。

60前にしてこの集中力の欠如に、自分自身嫌気を感じておりました。

よって直近でのSNSはほぼ備忘録としての活用としており、繋がって頂いている方には申し訳なく思うこともございます。すみません。

読書習慣と言っても家内とランチに出かけた時や移動時間やちょっとした待ち時間程度ですが、これが当たりの本に出会うと隙間時間がとても待ち遠しく思うのです。

気持ちも気のせいかキラキラ。

読書復活のきっかけの本が『汝、星のごとく』 凧良ゆうさん著。

読了後既に数か月経過していますが、本当に素敵な恋愛小説で思い出しても涙腺が緩みます。

60前のオヤジは外見的に恋愛小説似合いませんが、心ウルウルするようなお話に飢えていたりします。飢えているカテゴリーは、恋愛小説より純愛小説でしょうか。

電車の移動中に社内を見渡すと殆どスマホ乗客にげんなりするこ

ともあるのですが、本によってはスマホ活用しながら読み進める場合もあります。

一つの例は原田マハさんの著書。『楽園のカンヴァス』や『暗幕のゲルニカ』は、美術芸術に疎い当方でも【ここで出てくる〇〇という作品は、一体どの様な作品なのだろう？】と、想像力を彷彿とさせながら検索しておりました。

もう一つの例は沢木耕太郎さんの著書。長男次男が家を出て家内とシーズー犬2匹となった山本家 お出かけがお休みの最大の楽しみ。この『旅のつばくろ』は沢木さんの国内旅エッセイですが、旅における興味の視点や移動の楽しみ方などツボが盛り沢山。丁度この時期に読み当たった雲場池は凄く気になるのでした。



入社して新聞読むのも老眼で苦労する日々が続いておりますが、映

像観るのと違い文章から入り込んで頭働かせ膨らむ世界は当方にとって何よりもご褒美です。

頭働かせられる内に、働いて 働いて 働いて 働いて参ります！

株式会社やまもと印刷工業はこんな分野が得意です。

- | | | | | | |
|---------|------------|---------|-----------|-----------|------------|
| ・企画 | ・クリアファイル | ・浮き出し加工 | ・フライヤー | ・レタッチ | ・うちわ |
| ・デザイン | ・トランプ | ・PP 加工 | ・パッケージ | ・圧着はがき | ・パネル |
| ・印刷 | ・かるた | ・手揚げ袋 | ・シール | ・マグネットシート | ・オリジナル扇子 |
| ・製本 | ・宛名印刷 | ・メモ帳 | ・ノベルティ | ・封筒 | ・ポケットティッシュ |
| ・断裁 | ・封入 | ・のぼり旗 | ・Tシャツプリント | ・映像制作 | ・コースター |
| ・名刺 | ・封緘 | ・マウスパッド | ・ラミネート | ・動画制作 | ・ジグソーパズル |
| ・パンフレット | ・アッセンブリ | ・カタログ | ・ステッカー | ・電子ブック | ・サインシート |
| ・自費出版 | ・カッティングシート | ・挨拶状 | ・伝票 | ・電子書籍 | ・サインボード加工 |
| ・包装紙 | ・パウチ | ・ポスター | ・写真撮影 | ・UV 印刷 | |
| ・翻訳 | ・箔押し加工 | ・チラシ | ・写真加工 | ・CD ジャケット | |

防災事業

- | | |
|-----------|------------|
| ・長期保存水 | ・ブランケット |
| ・6 年保存水 | ・ボンチョ |
| ・非常用トイレ | ・毛布 |
| ・携帯トイレ | ・衛生用品 |
| ・ノベルティトイレ | ・レディースサポート |
| ・防災非常食 | ・セット |
| ・厳選非常食 | ・避難生活用品 |
| ・防災ズキン | |
| ・防災クッション | |
| ・車載用セット | |

【目黒区 渋谷区 港区 世田谷区 品川区 大田区】

中目黒 学芸大学 都立大学 上野 東京 大手町 恵比寿 祐天寺 目黒 代官山 渋谷 三軒茶屋 品川 田町 白金 高輪 五反田 大崎 自由が丘 六本木 広尾 新宿 代々木 原宿 駒沢 大井町 大森 蒲田 青山 表参道 池袋 乃木坂 天王洲アイル 記載以外の何処のエリアのお客様にも喜んでお伺いさせていただきます。

編集後記

つい最近蚊に臉を刺され凄く膨れ上がりビビリました。今まで当たり前と思っていた健康体であること もっと自分を大切にしないで。